

6. 乳用牛改良目標（農林水産省「家畜改良増殖目標」令和7年4月）

(1)乳用雌牛の能力に関する表型値目標数値（ホルスタイン種全国平均）

	乳量	乳成分		
		乳脂肪	無脂乳固成分	乳蛋白質
現在	8,809kg (9,956kg)	3.98%	8.79%	3.33%
目標 (令和17年度)	9,500～10,000kg (10,500～11,000kg)	現在の乳成分率を 引き続き維持		

注：乳量及び乳成分は令和5年度の数値。乳量の下の0内は、令和5年度の牛群検定参加農家の平均値（搾乳牛1頭当たり305日、2回搾乳及び自動搾乳の場合）に基づく数値。

(2)乳用雌牛の能力に関する育種価目標数値（ホルスタイン種全国平均）

	乳量	乳成分		
		乳脂肪	無脂乳固成分	乳蛋白質
現在	+ 62.2kg/年	+ 3.4kg/年	+ 6.4kg/年	+ 2.8kg/年
目標 (令和17年度)	現在の改良率を引き続き維持			

注：目標は、令和5年度時点の評価方法に基づく乳量及び乳成分の遺伝的能力の向上を示すものであり、令和17年度までの10年間の改良量の年当たり平均量である。

7. 酪農経営指標（農林水産省「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」令和7年4月）

	1	2	3	4	5	
【経営類型の特徴】	搾乳ロボット等の省力化技術や発情発見・分娩監視装置等のスマート農業技術の導入、TMRセンターの活用により、労働時間の削減と高い個体乳量を両立して所得を確保する家族経営	飼料生産組織を活用して飼料を確保し、自動給餌機等の省力化技術や発情発見・分娩監視装置等のスマート農業技術により労働時間を削減しつつ安定した所得を確保する法人経営	集約放牧により労働時間や生産コストを削減して所得を安定的に確保する家族経営	飼料生産組織の活用により飼料を確保し、家族労働力を中心に経営資源に見合った頭数規模で安定した所得を確保する家族経営	飼料生産組織の活用や経営連携により飼料を確保し、搾乳ロボット等の省力化技術や発情発見・分娩監視装置等のスマート農業技術により労働時間を削減し、少ない農業従事者数で安定した所得を確保する法人経営	
【立地条件】	土地条件の制約が小さい地域（主として北海道）			土地条件の制約が大きい地域（主として都府県）		
【土地条件】	畑主体	畑主体	牧草地主体	畑又は水田	畑主体	
【経営形態】	家族	法人	家族	家族	法人	
【飼養形態】	経産牛 130頭	経産牛 250頭	経産牛 70頭	経産牛 45頭	経産牛 130頭	
飼養方式	フリーストール（搾乳ロボット）	フリーストール（ミルクランミルカー）	放牧、つなぎ飼い（パイプラインミルカー）	つなぎ飼い（パイプラインミルカー）	フリーストール（搾乳ロボット）	
スマート農業技術	搾乳ロボット、自動給餌機、飼育機、搾乳ロボット、発情発見・分娩監視装置	自動給餌機、飼育機、搾乳ロボット、発情発見・分娩監視装置	ミルカー自動離脱装置	ミルカー自動離脱装置	搾乳ロボット、自動給餌機、飼育機、搾乳ロボット、発情発見・分娩監視装置	
外部化	TMRセンター	コントラクター	—	コントラクター	コントラクター	
給与方式	TMR給与	分離給与	分離給与	分離給与	分離給与	
放牧利用（放牧地面積）	—	—	放牧（35ha）	—	—	
【牛】						
経産牛1頭当たり乳量	10,500kg	9,700kg	8,300kg	9,500kg	10,000kg	
更新産次	4.0	4.0	4.2	3.7	3.7	
【飼料】						
作付体系及び単収	【TMRセンター】 混播牧草 (4,000kg/10a) 青刈りとうもろこし (5,500kg/10a)	【コントラクター】 混播牧草 (4,000kg/10a) 青刈りとうもろこし (5,500kg/10a)	混播牧草 (4,000kg/10a) 青刈りとうもろこし (5,000kg/10a)	【コントラクター】 イタリアンライグラス (4,000kg/10a) 青刈りとうもろこし (5,500kg/10a) 稲 WCS (2,700kg/10a)	【コントラクター】 混播牧草 (4,000kg/10a)	
作付面積（延べ面積） ※放牧利用を含む	106ha (106ha)	194ha (194ha)	61ha (61ha)	21ha (24ha)	51ha (51ha)	
購入飼料	—	—	—	—	青刈りとうもろこし	
飼料自給率（飼料自給率）	70%	70%	70%	50%	50%	
粗飼料給与率	70%	70%	70%	60%	60%	
【人】						
労働	総労働時間 （主たる従事者の労働時間）	5,070時間 (1,800時間×2人)	16,500時間 (2,000時間×4人)	6,090時間 (1,800時間×2人)	4,010時間 (1,900時間×2人)	6,110時間 (1,800時間×2人)
	雇用者	臨時雇用	2人+臨時雇用	1人+臨時雇用	臨時雇用	1人+臨時雇用
経営	粗収入	17,680万円	31,460万円	7,380万円	6,210万円	18,900万円
	経営費 （うち雇用労費）	14,820万円 (270万円)	24,680万円 (1,940万円)	5,130万円 (490万円)	4,580万円 (40万円)	16,470万円 (490万円)
	農業所得	2,860万円	6,790万円	2,250万円	1,630万円	2,440万円
	主たる従事者1人当たり所得	1,430万円	1,700万円	1,130万円	820万円	1,220万円
生産性	搾乳・飼養管理等に 関する作業時間 （経産牛1頭当たり）	39時間	66時間	87時間	89時間	47時間
	生乳1kg当たり費用合計	104.1円	97.9円	87.3円	102.7円	122.3円